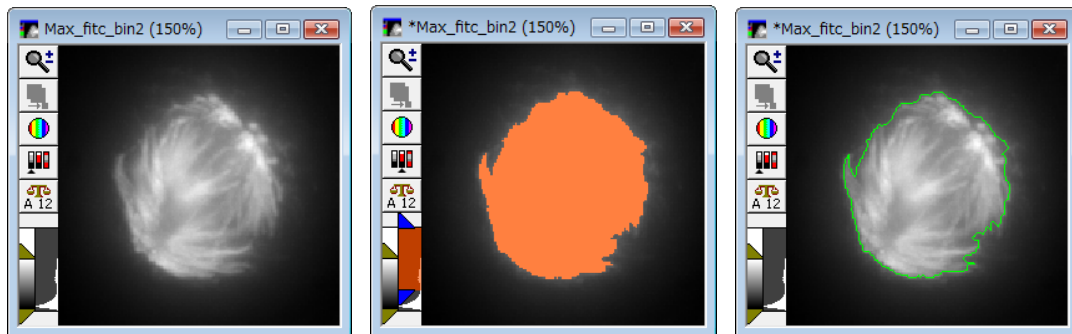


ペン型タブレット等を用い、2 値化処理しにくい対象物にマニュアルで囲いを作成し、その周囲に Region を作成する Journal について

<従来の方法>

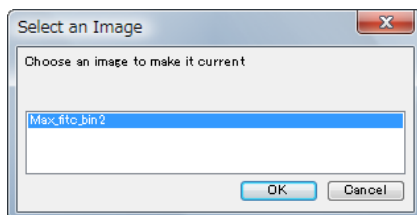


従来であれば、上記のように画像に Threshold (閾値) を設定し、Region menu / Create Around Objects を使用して Region を設定し、Threshold を Off にすれば、緑で囲まれた興味領域が設定できます。

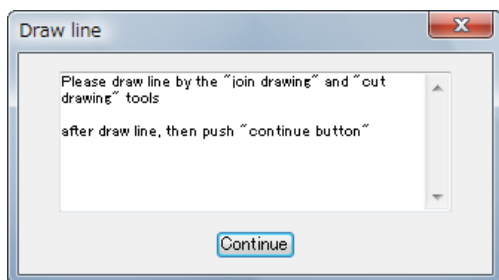
しかし、この方法では、Threshold が上手く設定できるという条件での操作手順になり、Threshold が上手く設定できない場合は使用できませんでした。

<Draw Region のマニュアル設定 Journal について>

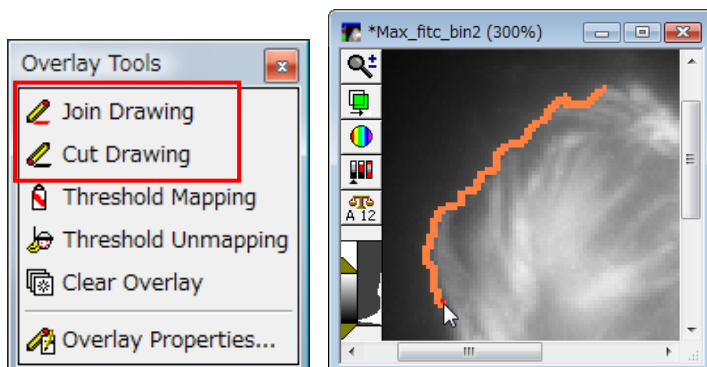
Journal を使用することで設定したい箇所に Join Drawing と Cut Drawing で細かな修正が可能になりました。




画像を選択します。

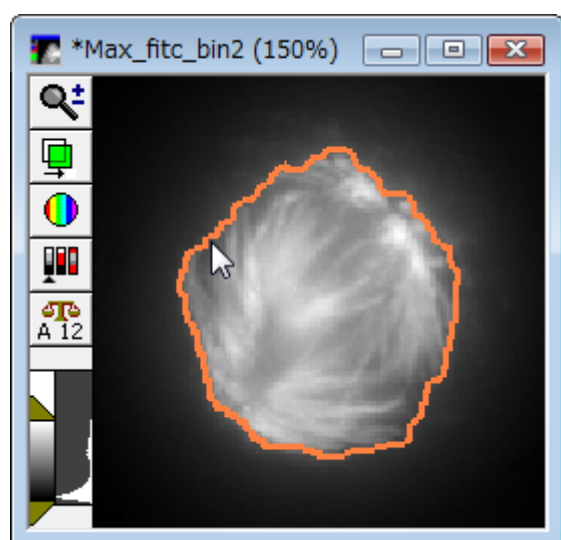
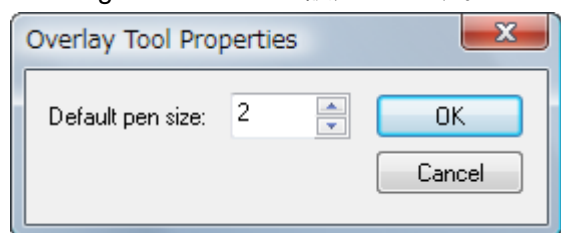


このウィンドウの表示している間に Draw します。

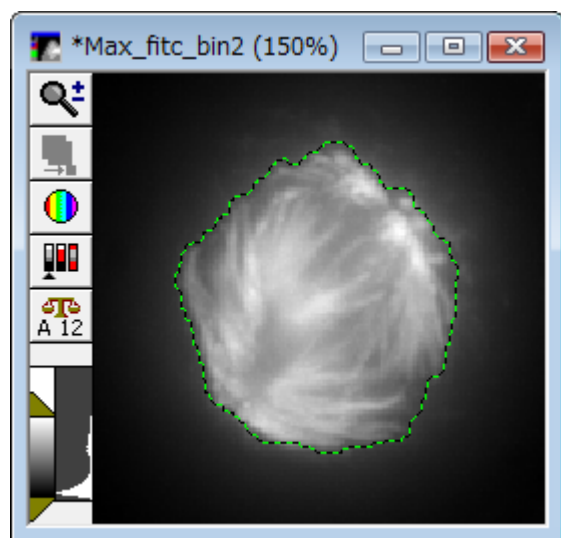


このように書き込みます。もし、削除したい場合は、「Cut Drawing」を使用します。正しく「Join Drawing」しているかどうかは、「」をクリックしますとオリジナルとの比較も可能です。複数のサンプルの場合でも、同様の設定で可能です。

また、上記「Overlay Tools」の Overlay Properties の部分をクリックしますと、Join Drawing と Cut Drawing のペンサイズが設定できます。



ここまで設定したら、「Continue」をクリックします。



Region が設定されます。

以上